

学校だより

# しやろうむ

令和6年7月1日  
長崎南山小学校  
校長 山田幸男  
TEL.095-844-2978

<https://www.nagasaki-nanzan2.ed.jp/es/>

## チャリティーバザーの歴史

「先生、南山バザーで儲けたお金って、何に使うんですか？」

「そりゃあ、小学校とか幼稚園（当時）とか教会のいろいろな必要なことに使うんだよ。」

「へえー、そうだったんですかあ。」

昭和の時代が終わって平成に入ったばかりの頃、担任をしていた6年生の数人が私のところに質問にやってきました。児童会の役員もしていたその数名の子どもたちから、

**自分たちのためではない、恵まれない人たちのために、自然災害や貧困など困っている人たちのために、特に子どもたちの生活を応援するために自分たちができるチャリティーバザーというものをやりたい。**

と相談されました。心のやさしい当時の6年生の発案が代表委員会にかけられ、何度も話し合いが重ねられて第1回目のチャリティーバザーが行われたのは平成元年の2月のことでした。

第1回目のチャリティーバザーの会場は図書室、全校に呼びかけて集めた品々を売る役は5年生と6年生、1年生から4年生までの児童と先生たちはお客さんという形でした。

このやり方が数年続いた後、クラス単位で出し物を考え、会場も各教室に分散して実施したいという声が上がりました。2年生以上の教室で前半・後半に分かれて実施、時期も2月から2学期へ、そして1学期へと、これまでいくつかの変遷を得て、現在は3年生以上が出し物をし、2年生まではお客さん、実施時期も6月というのが定着しています。

チャリティーバザーの収益は、これまで、ソマリアやアフガニスタンなどの難民救済のため、マザー・テレサやユネスコの活動を支援するため、島原の火砕流



や阪神淡路地震、東日本地震、熊本地震などの被災に遭った人たちのため、また、原爆ホームのお年寄りのためなどに使われてきました。今年度のチャリティーバザーは、能登半島地震で被災された方々のため、また動物愛護団体の活動支援のために行われました。

35年前の子どもたちのやさしい気持ちから始められたチャリティーバザーが、思いやりの心が絶えることなく引き継がれ、今も続いています。

♡ 7月のお知らせ・確認 ♡

## 児童募集にご協力を！

第1回学校説明会と公開授業には多くの保護者と園児に参加をしていただき、盛況のうちに終えることができました。皆様のご協力に感謝いたします。

第2回学校説明会と体験授業は7月27日（土）に行います。参加希望は申込み制となっており、本校ホームページ上から申込みができます。

**申込み期間 6月24日（月）～7月22日（月）**

ご親戚・お知り合いの方に来春新入学のお子様がおられましたら、お声がけいただけると幸いです。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 梅雨に入りました！

昨年よりも19日も遅く6月17日に長崎県も梅雨に入りました。雨の日も多くなってきましたので、登下校の際は以下の点にも注意を呼びかけていきたいと思えます。

- ・溝を流れる水を触らない、傘など持ち物を溝に入れて遊んだりしない。
- ・その日の天気気を配り、傘などの雨具の準備を忘れない。
- ・滑らないように足下に気をつけて歩く。
- ・視界を確保するために体に合った大きさの傘にする。

# 南山小学校の英語教育

英語教育に対する関心は年々高まってきているようです。幼児期から教室に通う子も多く、先日の学校説明会でも英語の授業を公開した2年生と6年生の教室には多くの園児や保護者の皆様が南山小学校の英語の授業を興味津々に参観されていました。

ここで、南山小学校の英語教育について改めてお知らせしたいと思います。

南山小学校を建てられたウンゼン神父様は、創立当初から子どもたちの全人教育の柱の一つとして英語教育を重要視されていました。神父様が提唱されたのは「イングリッシュエドベンチャー」の英語教育です。「エドベンチャー」は、「education（教育）」と「adventure（冒険）」からの造語で、もともとアメリカやカナダで幼児や小学生に音楽を教えておられた先生方の指導法のようなのです。

「イングリッシュエドベンチャー」の英語教育では、とにかく「音」を大切にします。乳幼児の子どもたちが母親の子守歌を聞きながら言語を学んでいくのと同じように、たくさん音楽を聞かせたりゲームをして遊ばせたりする中で、英語の楽しさを体験させ、「音」から英語を体の中にインプットさせていくという考えの指導法です。

ウイゼン神父様は、「音」が十分に入っていない状態で「文字」へと移っていた当時の英語教育に疑問を感じられ、とにかく「音」としての英語が大事だ、楽しむことが一番だ、文法は後からでも十分に理解できると考えておられたようです。

ウイゼン神父様が大切にされた英語教育は、代々の英語担当の先生方にも引き継がれ、南山小学校では、今でも、歌をたくさん歌って子どもたちが楽しみながら英語を体の中にインプットし、ゲームや現地の遊びを通して外国の文化にも触れることができるように指導しています。

日	曜日	7月の行事予定
1	月	安全点検
2	火	カトリック児童の集まり(赦しの秘跡) 校内研修
3	水	ミサ(Fr.ブルーノ) クラブ
4	木	
5	金	水泳教室(低学年) 各種委員会
6	土	登校日
7	日	
8	月	
9	火	宗教の集い(Fr.大川) 聖トマスについて 職員会議
10	水	水泳教室(高学年) 南山中・純心中説明会
11	木	
12	金	
13	土	家庭の日
14	日	
15	月	(祝)海の日
16	火	
17	水	宗教の集い 共同回心式(Fr.ブルーノ)
18	木	大掃除
19	金	1学期終業式 聖書のことば(Fr.ブルーノ)
20	土	家庭の日
21	日	
22	月	職員会議 体験授業受付締切
23	火	個人面談
24	水	個人面談
25	木	個人面談
26	金	体験授業準備
27	土	家庭の日 第2回学校説明会・体験授業
28	日	
29	月	大掃除
30	火	職員健康診断
31	水	

〔 今月のみことば 〕

**神は 天からの雨を降らせて 実りの季節を与えてくださる**

(使徒14-17)